

UT MD Anderson Thoracic Molecular Pathology Lab における Tissue Biobanking System と最近の Tissue を 用いた Translational Research について

藤本 淳也

Assistant Professor

Department of Thoracic/Head and Neck Medical Oncology,
The University of Texas MD Anderson Cancer Center, USA

日時: 2012年11月12日(月) 13:00 - 14:30

場所: 東京大学本郷キャンパス

薬学系研究科 本館(西)5階 W5セミナー室



我々が所属する Thoracic Molecular Pathology Lab(TMPL)は臨床科(腫瘍内科、胸部外科、放射線科)と基礎講座部門を結びつける translational な役割を担っている。患者からインフォームドコンセントが得られ、採取されたすべての血液、細胞、組織を保存、管理、配分の責任を負い、プロジェクトのコアドライバー、共同研究者として活動を行っている。現在 UT MD Anderson には 30 程の各臓器の tissue bank 部門があるが我々が運営する Thoracic Tissue Bank は最古参の 8 つの部門の1つである。肺がんのみを見ても詳細にデータが揃っている凍結材料 3000 検体が常に ready-go の状態を保持し、また複数のプロジェクトに関連し現在進行形で前向き組織採取を行っている。この前向きな組織採取活動の1つに肺癌の2大組織型である術前化学放射線療法を受けていない腺癌と扁平上皮癌と共に対応する正常気管支上皮を複数採取し、分析を行っている。今回分析によって得られたデータと共にどのような vision で Thoracic Tissue Bank を運営しているかを紹介する。

主催: 東京大学グローバル COE 「学融合に基づく医療システムイノベーション」
東京大学大学院薬学系研究科 教授 入村 達郎

協賛: 「ライフイノベーションを先導するリーダー養成プログラム」
東京大学ライフイノベーション・リーディング大学院
東京大学ナノバイオ・インテグレーション研究拠点

担当者: 聖子 ヤーネス

電話: 03-5841-1509 / Fax: 03-5841-1510

E-mail: jarnes@cnbi.t.u-tokyo.ac.jp

お申込み: <http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/CMSI/>